

# 感染症情報 7月10日～16日

府下小児科194医療機関(堺市19)から

①ヘルパンギーナ	925例(堺市	120例)
②感染性胃腸炎	621例(堺市	58例)
③溶連菌感染症	422例(堺市	53例)
④RSウイルス感染症	322例(堺市	39例)
⑤咽頭結膜熱	217例(堺市	21例)

府下297医療機関(堺市29)から

**インフルエンザ** 267例(堺市 19例)

前週比7.3%減の2,722件の報告数であった。ヘルパンギーナは府下で21%減、堺市で128例→120例であった。定点当たりは府下が6.01→4.77で、堺市は6.74→6.32。感染性胃腸炎が府下で前週比2%減、堺市で前週37例→今回58例であった。溶連菌感染症が府下が2例減、堺市で前週59例→今回53例。RSウイルス感染症が府下で10%減、堺市で53例→39例であった。定点当たり大阪府が1.84→1.66、堺市が2.79→2.05。咽頭結膜熱が府下で35%増、堺市で前回14例→今回21例。

インフルエンザが府下で前週223例→267例で20%増、堺市で前週20例→今回19例であった。定点当たり大阪府は0.75→0.90、堺市で0.69→0.66であった。

府下297医療機関(堺市29)から

**新型コロナウイルス感染症** 3,036例(堺市 346例)  
大阪府定点 10.22 堺市定点 11.93

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
107	223	280	623	325	292	316	324	179	197	170	3036

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前週2,330例→今回3,036例で30%増、定点当たり7.87→10.22に、堺市は前週263例→今回346例で32%増、定点当たり9.07→11.93であった。大阪府のブロック別の定点当たりでは、堺市ブロックが再びワーストになった。

麻疹や風疹の報告はなかった。